

Message to you

相性からひもとく

互いの想いつなぐアドバイスを

「12 年前に亡くなった母は、占い歴 50 年。著名な方を顧客にもち、お客様からの依頼が絶えない占い師でした。相談者の方を常に励まし、時にけきを飛ばしていた姿が印象に残っています」

お母様との思い出を懐かしそうに語る、麻倉真こさん。自身も占い師として本格的に活動を開始。待ち望まれた 2 代目の鑑定開始に、周りからは早くも期待が寄せられています。



主に生年月日から割り出す九星気学をもとにした占い鑑定と悩み相談に対応。その人が生まれ持つ「人生のテーマ」をはじめ

性格の特徴や傾向、周りから見た印象や本来の自分を知るヒントなど。多彩な言葉のキーワードを使って、端的かつ的確に助言してくれます。

恋愛、家庭、対人関係など幅広い悩みにも具体的にアドバイス。得意分野は親子関係。悩みの源は「親子間にある想いのすれ違いにある」と真こさんは言います。

「親が子に対して抱く想いと、子が親を慕い想う気持ちは異なります。相性に恵まれているなど関係が良好であればいいのですが、そうでない場合は互いの九星を理解することで、そのギャップを埋めることができます。そのためのアドバイスを丁寧にして差し上げたいですね」



「悩みの源は想いのすれ違い。互いの九星を理解することで、そのギャップを埋めることができます」
(真こさん)

麻倉 真こ Mako Asakura

～占い師の母に導かれて～

九星気学占い師×健康体操教室講師 新たなスタート

実は真こさん自身も、母親との相性を深く知るにつれて、様々な悩みから解放されていった経験があるそう。

「九星気学でみると母は『三碧木星』。高みを目指し何事も究める性格です。一方、私は物事を俯瞰して判断するタイプ。母は常に前を見て突き進んでいましたから、私はいつも心の中で待って！待って！と叫んでいました。おいてけぼりにされているような気がして、子供心に寂しく感じていたのですね。当時は理解できませんでしたが、母の生まれ持つ性格ゆえのことだと気づいてから、気持ちがラクになりました」

占いは幼いころから身近な存在。17 歳頃から母に連れられ勉強会にも参加。周囲から「お嬢さんは鑑定をされないのですか？」と度々声を掛けられるようになったのもごく自然な流れといえます。「センスがあるから私の後を継ぎなさい」と母親の後押しもありましたが、若い頃は、なかなかその気になれなかったそうです。(次ページへ続く)



真結
こさん
たばかり
の頃の
様。柔らかな
笑顔が
お母

アメブロ mako7899

<https://ameblo.jp/mako7899/>



Facebook

<https://www.facebook.com/profile.php?id=100081002247662>



プロフィール / 麻倉真こ Mako Asakura

九星気学占い師。中高年健康体操教室講師。占い師の母を持ち、幼い頃から占いを人生の礎として育つ。短大生時代に始めた社交ダンスをきっかけにダンサーの道へ。腰痛悪化を機にダンス講師から健康体操教室講師へ転身。平成 29 年同教室から独立。令和 3 年占い師としての活動を公にすることを決意。翌年本格的に活動開始。趣味は映画鑑賞。夫、長男の 3 人家族。

Mako Asakura's History

どういうわけか、いつも相談を持ち掛けられて… 幼い頃から自然に習得した占いの本質

「どういうわけか、いつもいろんな方から相談を持ち掛けられていました。友人とランチを楽しんでいる最中も、悩みを打ち明けられてばかり。アドバイスをすると『スッキリした』と言われたものです。次第に美味しい食事や周りの景色を楽しむ余裕すらなくなっていました」



こうして、占い師を職業として選択することなく青春時代を過ごします。のちに結婚、出産。ダンス講師や体操講師など、占いとは離れた場所でキャリアを築いていたある日。最愛のお母様との別れが転機となります。

「老人福祉施設に入居した母は、病床でも相変わらずお得意様の鑑定を電話で続けていました。親として、占い師としてたくさんの愛情と教えを授けてもらっていたことの意味に気づいたのは最期を迎える頃でした。分からないことを聞いても答えてくれる人はもういなくなるのだ、と。何故もっといろいろ聞いておかなかったのかと後悔しました」

逝去後、最初に取り掛かったのは顧客宛てに母親が書き残していた手紙を送り届けること。「その時も私に後を継いで欲しい、御札（おふだ）も代わりに書いてほしいなどと頼ま

れました。でも、そんな神がかったことは簡単にお引き受けすることはできません。お得意様とのご縁もそこまでとなってしまったのです」

それから10年後。真こさんの運命が大きく動き出します。世界中を覆ったコロナ感染拡大による日常生活の変革。体操講師として対面活動の場を徐々に縮小せざるを得ない状況に直面したのです。「ふと、街中の商業施設にある占いブースを覗いてみました。様々な占術がありましたが、なぜか『方位』を扱った鑑定をしている方があまり居ないことに気づいたのです」（左下へ続く）



Message to you

気学×健康づくりで幸せに 良いご縁をつむいで心も身体もすこやか

元旦は、毎年吉方位に出掛けていた真こさん。結婚後もその習慣は続けられ「一年間良いご縁が続きますように」と送り出してくれた母。その優しい心遣いが記憶の奥底から蘇り、心を揺さぶったのです。

以降、方位に詳しい占い師を探し出して講座を受講。改めて学びを深めていく中、占いに対する意識が大きく変化。既に始めていたブログにも少しずつ占い情報を盛り込み、活動を加速させていったのです。

占いと共に生まれ育ち、身近な存在だからこそ気づかなかった宿命。習うまでもなく、幼いころから自然な形で習得した占いの本質。母の背中から教わった占い師としての気構えと誇り。鑑定させていただく方々への感謝と祝福のエール。

すべてが結実した今。これからの抱負を伺うと「家族が健康で幸せで過ごせることが私の願い。占い師として活動すると決めてから、頭がフル回転しているんですよ（笑）」

History

短大時代に社交ダンス舞踏部入部。競技会出場。法政大学・日本大学の映画研究会からの依頼で自主映画のヒロインとして2作出演。東京ディズニーランドで2年間ダンサー経験。平成元年結婚。社交ダンスの教員免許を取得しダンス教室勤務。平成8年出産。子育て中の腰痛悪化により自宅近くの体操教室に通ったことをきっかけに誘いを受け、体操教室の指導員として勤務。平成29年独立。都内老人ホームでの体操指導を始めるもコロナ感染拡大を受け、やむなく活動縮小。令和4年から体操教室講師、占い師の2業種で本格的に活動開始。

Information

健康体操教室

中高年健康体操教室講師歴16年。地元公民館で週1回1時間15分レッスン他。

柔軟体操から有酸素運動まで幅広い内容。腹式呼吸やストレッチで体をほぐしながら体幹づくり。スクワット、ウォーキング、エクササイズなど。1曲はエアロビクスを取り入れ楽しく汗をかいて心身ともにリフレッシュ。40～70代を中心に指導。「長期間続けておられる方は、同年代の方と比べると立ち姿や歩き方が目に見えて違います。自宅で手軽にできる動きも取り入れていますのでぜひ、続けていただきたいですね」



写真提供：麻倉真こさん（ページ1,2すべて）